

## 子宮頸がん予防セミナー 子宮頸がんを予防するという選択～今だからできる～

### セミナーの目的

自分ではなく、大切なわが子にHPVワクチンを打たせるか否か、重大な決断を迫られている保護者の皆さまにとって有益な情報を提供し、正しい情報を得た上でどのように伝え、どのように判断するのか、その支援をすることです。また、接種の機会を逃した方にとっても情報を提供するセミナーとなっています。

本日のセミナーで得られた知識を皆様の大切なご家族やご友人にお伝えくだされば幸いです。

日本の子宮頸がんおよびHPV関連がんの対策とその管理体制について科学的根拠と諸外国の事例をファクトシートの形で国立がん研究センターがまとめています

<https://www.ncc.go.jp/html/icc/hpvcancer/index.html>



HPVワクチンを受けると、将来子宮頸がん検診を受ける必要はない？

→必要です！

子宮頸がん予防は両輪！

1つ目は、がんになる前に予防すること＝HPVワクチン

2つ目はがんになる前に見つけて治療すること＝子宮頸がん検診

HPVワクチンの接種回数は？

HPVワクチンは子宮頸がんや一部の性感染症に対して予防効果がある？

接種回数は2～3回

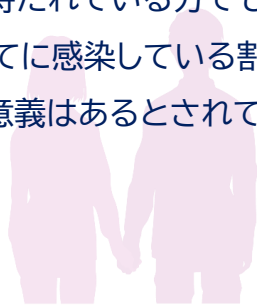
※1回目の接種を受けるときの年齢によって異なります

|                       |                                               |
|-----------------------|-----------------------------------------------|
| 9価ワクチン<br>(4月から定期接種化) | がんを引き起こす7種類と<br>尖圭コンジローマ(いぼ)を起こす2種類のHPVの感染を予防 |
| 2価ワクチン                | がんを引き起こす2種類のHPVの感染を予防                         |
| 4価ワクチン                | がんを引き起こす2種類と<br>尖圭コンジローマ(いぼ)を起こす2種類のHPVの感染を予防 |

HPVワクチンは、性交渉をしたことがない人に  
投与した場合に最も効果的？

HPVワクチンは性交渉開始前に接種することが  
最も効果的であるとされています。

しかし、すでに性交渉を持たれている方でもワクチンで予防できる  
HPVの型すべてに感染している割合は少なく、  
接種する意義はあるとされています。



HPVワクチンを接種したことがある人は子宮頸がんを発症しない？

HPVワクチンで100%がんを予防することはできません。  
20歳以上になったらがん検診を受診することが重要です。

～HPVウイルスについて～

HPVウイルスはごくありふれたもので、  
200種類を超える型があると言われています。  
そのうち、子宮頸がんの発症と関係が深いハイリスク型というものがある  
(16型、18型など)ことがわかっています。

## 西宮市保健所からのお知らせ

西宮市子宮頸がん検診について

<https://www.nishi.or.jp/kenko/hokenjoioho/seijin/SIKYUKEIGAN2023.html>



HPVワクチンについて

<https://www.nishi.or.jp/kenko/hokenjoioho/yobosesshu/hpvyobosesshu.html>

